

南高尾山稜&学習の歩道で高尾山へ

日時：2020年10月31日（土） 天候：晴 健脚LV2 歩数2万8000歩 15km（17km）

集合 京王線高尾山口駅9時

コース 高尾山口駅（標高191m）→山下バス停→西山峠コース→西山峠→見晴台→中沢峠→金毘羅山（標高514.7m）→大洞山（標高536m、昼食）→大垂水峠→学習の歩道コース→四分岐点→一丁平展望台^林→高尾山縦走コース→5号路→高尾山（標高599m）直下^林→裏道→1号路→浄心門→ケーブル高尾山駅（標高472m）→（ケーブル）→ケーブル清滝駅（標高201m）→高尾山口駅

参加者 市村L 中村ゆSL 山田SL 勅使河原 平石 熊坂 伊藤美 丹後 小田 奥村
高山 高橋友 三田 鹿島 14人

晴天に恵まれた10月31日、「津久井湖や丹沢山塊の景色を眺めながら南高尾山稜を縦走して大洞山、学習の歩道で高尾山へ」と高尾山口駅に14人が集合しました。とはいえニュースでは、「Go To キャンペーンの対象になってからの初めての日曜日の10月25日、京王高尾山口駅は正午までに1万1000人が乗降。ケーブルカーは1時間待ち」とのこと、一抹の不安を抱えて高尾山口駅に降り立ちました。

学習の歩道コースが一部危険箇所があり通行止めになっているために、大垂水峠から一丁平に出てメインコースの高尾山縦走コースで高尾山へ向かいました。高尾山山頂は紅葉シーズンのはじまりで混雑するため、山頂には行かず巻道の5号路で迂回してケーブル高尾山駅をめざしました。

写真は、「関東ふれあいの道湖のみち」の踏破撮影ポイント大洞山山頂での一枚です。

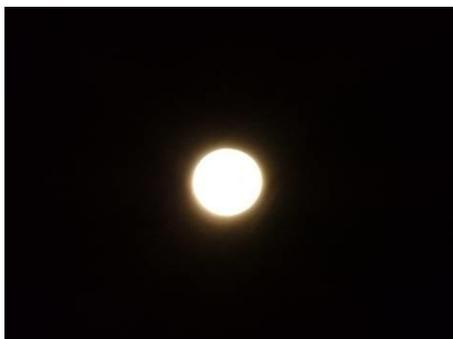


高尾山口駅～ウサギが跳びはねる広場でストレッチ～青葉橋で出発写真

10月31日4時20分、自宅から西の空を見ると満月前の小望月が輝いていました。

高尾山口駅は電車が到着するたびに高尾山をめざす人たちが降りてきます。この時間帯は登山姿の人が多く見受けられます。大きなハイキングコース案内図の前ではコースの最終打ち合わせでしょうか。

山田サブリーダーが旗を掲げて誘導、広場でストレッチ、ウサギが何匹か住み着いているのか跳びはねています。市村リーダーがコース説明をして「高尾山山頂直下から高尾山口駅までは混雑が予想されますのでマスク着用をしてください。大きな声での会話は自粛を」とコロナ対策を要請。青葉橋で、マスク着用姿の出発写真を撮りました。



青葉橋～関東ふれあいの道起終点梅の木平～貴布祢橋～西山峠コース道標

国道20号線の甲州街道を案内（あんない）川に沿って上流へ、高尾新橋を通過、圏央道の高尾山ICが見えてきました。山田サブリーダーを先頭に緩やかな上り道を進みます。梅の木平バス停近くに梅の木橋があります。ここは「関東ふれあいの道」の起終点の梅の木平です。説明板には「関東ふれあいの道とは、関東1都6県をぐるりと一周する総延長1799kmの長距離自然歩道、八王子市南浅川町の国道20号沿いの梅の木平を起終点に高尾山・奥多摩・・・」と書かれています。三沢峠へ歩けば関東ふれあいの道ですが、衣類調整をして20号線を直進です。貴布祢橋を渡ります。西山峠を指し示す道標が出てきました。



道標～西山峠コースはKWCの貸し切り状態～丸太橋～10時32分西山峠

自動車が通れる緩やかな上り道を進むと本格的な峠道になりました。西山峠コースは高尾山口駅の雑踏が嘘のような静けさ、日影に入ると空気がひんやりと、KWCの貸し切り状態での山行です。沢に架かる丸太橋を一人ずつ慎重に渡り、小休憩。

昼までの先頭歩きは山田サブリーダー、最後尾は中村サブリーダー、峠に近づくにつれて勾配が厳しくなり、「山田さん、速いよ～」の声が聞こえてきます。山田さん「分かりました～ゆっくり行きま～す」と返事をしますが、少し上ると元のペースに☺。空が広がってきて10時32分、西山峠到着、水分補給小休憩。



西山峠～湖のみち～10時58分見晴台 津久井湖・丹沢山系・富士山一望

水分補給・小休憩をして10時37分、西山峠を後にします。「梅の木平・三沢峠～大垂水峠・城山・高尾山」は関東ふれあいの道湖のみち、午前中の西山峠から大垂水峠までは湖のみちです。西山峠コースとは違い、登山者やランナーと行き交います。アップダウンを繰り返し、時々左下の津久井湖を木々の間から臨みながら足取り軽く進みます。10時58分、景色がパーッと開けるとそこが見晴台、何人か先客がいました。眼下の津久井湖、左から大山、丹沢山系、富士山が一望できました。山並みを確認する人、ベンチに座って景色を楽しむ人、三田さん満足顔ですね。南高尾山稜一押し of 景観スポットです。



見晴台～尾根道歩き～急登～金毘羅山～12時7分大洞山（標高536m）

見晴台でゆっくりしたいのですが道幅狭いところですので、密を避けて11時3分にスタート。歩きやすい尾根道歩き、中澤山は巻道でやり過ごし中沢峠を通過、金毘羅山の急登を登ります。11時40分、登山者が作ってくれたのでしょうか「コンピラ山514.7m」と書かれた木片がある山頂へ到着。木洩れ日射すベンチで一休み。ここも5分休憩、足どり快調の山田さんを先頭に金毘羅山から大洞山をめざします。

尾根道を歩いている延長線上、「ここが山頂なの」と思うようなところが大洞山です。12時7分、到着予定設定タイムは12時35分、山田さんのテンポ良い歩きが功を奏し予定より28分早い到着となりました。



山頂で昼食タイム～湖のみち踏破撮影ポイント～急峻な下り～大垂水峠橋

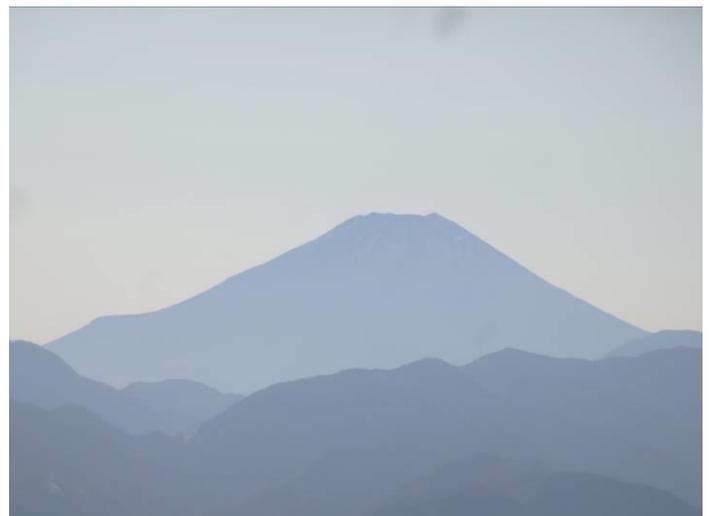
大洞山山頂で昼食タイムです。テーブルでお話し組、ベンチで展望を楽しむ組、勅使河原さんはシートを引いていつものスタイルのリンゴかじり。「関東ふれあいの道湖のみち」踏破撮影ポイントの大洞山山頂標柱を囲んで記念写真。午後は、中村サブリーダーが先頭歩き、山田サブリーダーが最後尾。大垂水峠までは、急峻な下り道があります。女性グループが12時31分下山開始、男性グループは12時40分に下山開始、大垂水・赤馬分岐で合流しました。途中、道が崩れているところがあり仮修理されていました。国道20号を走る自動車音が聞こえてきて13時9分、大垂水峠橋まで下りてきました。先着の女性4人をパチリ。



大垂水峠～学習の歩道～四分岐～一丁平展望台・シルエット富士

大垂水橋の下を国道20号（甲州街道）が通っていて、ここが大垂水峠です。左に行けば小仏城山、右に行けば学習の歩道で高尾山です。右の道へ入ります、静かな山歩きのできる良いコースです。13時24分に四分岐到着、予定していた学習の歩道はこの先で通行止め、案内図には赤テープが貼られています。

水分補給をして13時30分、一丁平へ向かいます。緩やかな上り道は幅が広くて歩きやすく、道端にアザミの花などを見ることができました。13時50分、一丁平展望台へ到着。ここは高尾山縦走コース、登山者で賑わっています。展望台から見えるシルエット富士がなんとも味わい深いです。



展望台～高尾山縦走コースを巻道で～5号路～高尾山（599m）山頂直下

午前は見晴台で山頂付近に雪化粧をした富士山を見て、午後は一丁平展望台でシルエット富士を見て、笑顔の集合写真です。13時57分、さあ高尾山めざしての縦走です。高尾山縦走コースは登山者が多く、密を避けて一丁平のトイレ裏から巻道を歩くことにしました。高尾山山頂は混雑が予想されるので、ここも巻道の5号路で、14時40分に高尾山山頂（標高599m）直下の4号路分岐へ到着。トイレ休憩、山頂から下りてくる人、軽装でこれから山頂へ向かう人で大混雑です。



高尾山山頂直下～裏道～薬王院境内～1号路～浄心門～ケーブル高尾山駅

14時55分、混雑を避けて裏道で下ります。薬王院境内で1号路に合流、列をなして参道を下ります。浄心門をくぐり、ひっぱり蛸、たこ杉の前を通り、乗車待ち多数のケーブル高尾山駅へ15時30分に到着。



予定設定タイムより 30 分早い到着 歩きごたえある 2 万 8000 歩でした

ケーブル高尾山駅到着予定設定タイムは 16 時 00 分、予定より 30 分早い到着です。しかしケーブルは 30 分待ち、相談の結果、ケーブル組（熊坂、中村、奥村、高橋）、リフト組（伊藤、高山）、ウォーキング組（勅使河原、平石、市村、丹後、小田、山田、三田、鹿島）に分かれて下山することにしました。

「ケーブル組は、待ち時間に水筒のお湯でコーヒーを入れ飲み終わるかどうかのタイミングでケーブル乗車となりました。日本一の急勾配を体感して 16:05 清滝駅到着でした」（中村）。ウォーキング組の中盤を歩いた 3 人（丹後、三田、市村）は 16 時 04 分に清滝駅へ、リフト組も順調に下山でき、クールダウン。ケーブル、リフト組は 15 km、最後もウォーキング組は、歩数 2 万 8000 歩で距離は 17 km になりました。歩きごたえのある「南高尾山稜&学習の歩道で高尾山へ」でした。最後の一枚は、茅ヶ崎駅で見た満月です。

新型コロナウイルス感染者数が、10月29日に808人（東京220人）、30日に774人（東京202人）を新たに確認。7都府県に緊急事態宣言が出された4月7日は368人、2倍以上の新感染者数、三密（密閉空間、密集場所、密接会話）を避けての山行でした。



このコースは昨年 12 月 4 日に予定していましたが、台風 19 号の影響で大洞山～大垂水峠間で通行止めがあり中止、草戸山コースを実施しました。ほぼ 1 年ぶりに実施できて感慨深い思いです。

神奈川ウォーキングクラブは、関東ふれあいの道東京の 7 回コースを 10 回コースで組んで、2015 年 4 月 25 日から 2016 年 6 月 11 日で実施しました。第 1 回（2015 年 4 月 25 日）が今回のコースとダブるところがあります。そのときは反対コースで、大垂水峠～大洞山～西沢峠～三沢峠～梅ノ木平～高尾山口駅、吉野リーダーのもと 31 人が参加しました。この日の参加者で歩いた人は 6 人（勅使河原 熊坂 市村 中村ゆ 丹後 小田）、私の健脚デビューのコースでした。（いちむら記）